Sansei Technologies

第73期 ご報告

株主のみなさまへ

2022年4月1日から2023年3月31日まで

三精テクノロジーズ株式会社

証券コード：6357

株主の皆様へ

代表取締役社長　良知　昇

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当連結会計年度につきましては、新型コロナウイルス感染拡大により停滞していた経済活動が、行動制限の緩和効果もあり緩やかに持ち直しに転じました。一方で、世界的な半導体等の部品不足、原材料価格の高騰、金融資本市場の変調、長期化するウクライナ情勢に伴う地政学的リスクなどによる世界経済への影響も不安視され、先行きは不透明な状況が続いています。

当社事業においては、遊戯機械分野では国内外で受注環境が回復してきており、新設ライドや補修部材の需要が高まっている上、舞台機構分野でもコンサートやイベント開催が本格的に再開され、仮設舞台装置の需要が盛り上がってきています。

当年度連結業績は、売上高は40,683百万円（前期比18.3％増）、営業利益は2,007百万円（前期比93.0％増）、経常利益は2,757百万円（前期比46.6％増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,704百万円（前期比17.6％増）と増収増益となりました。

国内外で回復してきた需要を確実に取り込むことによる各事業の一段の成長に加えて、新たな事業分野の構築にも積極的に取り組むことで、持続的な成長と企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

業績ハイライト

セグメント別概況

遊戯機械

受注環境が回復している海外を中心に工事が順調に進捗したほか補修部品向けも引き続き伸びたことから、一部不採算工事の影響や販売経費の増加はあったものの、セグメント売上高は18,892百万円（前期比25.4％増）、セグメント損失は157百万円（前年同期はセグメント損失819百万円）となりました。

舞台設備

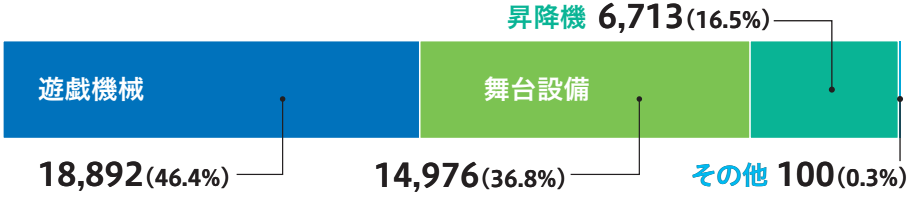
コンサートやイベント向け仮設舞台装置の需要が大きく回復したことから、常設の改修工事における前期大型案件の反動や新設工事での諸コスト増加の影響などがあったものの、セグメント売上高は14,976百万円（同13.0％増）、セグメント利益は2,446百万円（同16.8％増）となりました。

昇降機

公共施設や集合住宅用の改修工事が着実に進捗したことに加え、保守・メンテナンス事業も引き続き堅調に推移したことにより、セグメント売上高は6,713百万円（同11.5％増）、セグメント利益は1,291百万円（同7.2％増）となりました。

［セグメント別売上高（構成比）］

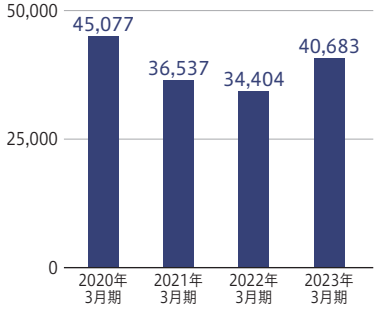
単位：百万円



連結財務ハイライト

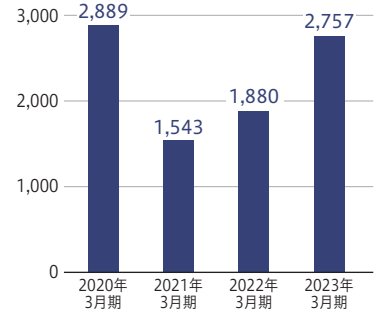
売上高

単位：百万円



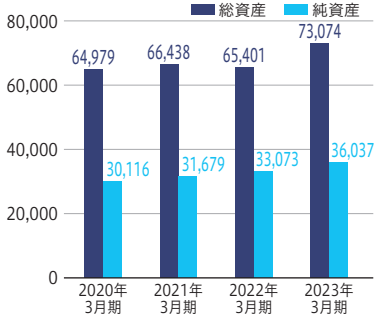
経常利益

単位：百万円



総資産／純資産

単位：百万円



トピックス

三重県伊賀市の淀川水系川上ダムにエレベーターを納入

独立行政法人水資源機構が事業主体として1981年から計画・建設が進められた淀川水系木津川支川前深瀬川に位置する川上ダムは、洪水調節・上水道・工業用水等を利用目的として、「あおやま川上湖」に2023年3月26日に完成しました。

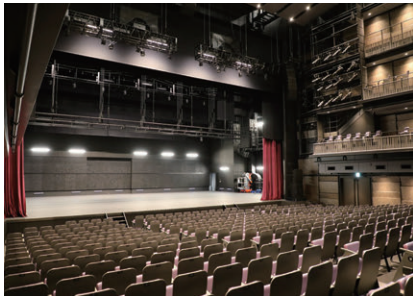
当社はダム堤体の点検・整備を行う作業員の上下移動を目的としたエレベーターを設置致しました。ダム堤体内部は常に湿度が高いため、水対策として防滴、防錆を施した特殊仕様のエレベーターとなっています。

東急歌舞伎町タワー THEATER MILANO-Za、Zepp Shinjuku（TOKYO）に舞台機構を納入

新宿TOKYU MILANOの跡地に、ホテルおよび映画館・劇場・ライブホールなどのエンターテインメント施設などからなる東急歌舞伎町タワーが完成しました。当社は2つのホールに舞台吊物機構を納入致しました。

THEATER MILANO-Zaは、アーティストと観客がお互いの鼓動や息遣いを感じられる約900席の劇場で、演劇・音楽・映像等の多彩なエンターテインメントコンテンツを発信します。多種多様なコンテンツに対応するため、当社は高性能バトン、高機能制御システム、移動式ライトブリッジを納入し、自由自在な舞台空間の演出を可能としました。

Zepp Shinjuku（TOKYO）はエリア最大級であるキャパシティ1,500名のライブホールで、最新の映像設備により、ここでしか味わえない臨場感あふれる音楽体験を可能にします。当社の照明トラスやLEDビジョン昇降装置は、ライブ利用だけでなくナイトエンターテインメント利用にも対応し、光と映像による演出を支えています。

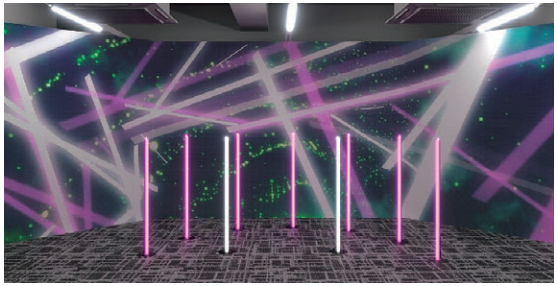


THEATER MILANO-Za

Zepp Shinjuku（TOKYO）

テルミック社での映像撮影新サービスの開始

テルミック社では、高精細のLEDビジョンとこれまで培ってきた特殊機構などを使った様々な舞台演出技法、および「バーチャルプロダクション」と呼ばれる革新的な映像撮影手法を融合させた映像撮影サービスを開始しました。東京八丁堀に開設したスタジオ内では、自社製作のターンテーブルなどの特殊機構の動きと3D映像とを同期させ、立体感のある映像が撮影できます。これにより従来屋外での撮影が必要だった映像が、スタジオ内で制作できることとなります。2023年6月XR総合展（東京ビッグサイト）でPRを実施するなど、テレビ・コンサート向け仮設舞台装置に続く事業として取り組んでまいります。



乗用人型変形ロボット「SR-01」および4足歩行型ライド「SR-02」の展示会出展

当社が開発した乗用人型変形ロボット「SR-01」と4足歩行型ライドのプロトタイプ「SR-02」を、「東京コミコン 2022」、「日経クロステックEXPO 2022」に出展致しました。「SR-01」は、ポップカルチャー関連のイベント「東京コミコン2022」において、テルミック社が制作したバーチャルプロダクション映像を背景に、車型から人型への変形パフォーマンスを行いました。「SR-02」は、テクノロジー関連展示会「日経クロステックEXPO 2022（オンライン開催）」において、約40分の映像の中で製作過程や関係者インタビューも含め、開発ドキュメントとして取り上げられました。今後、「SR-01」、「SR-02」ともに展示会やイベントなどで、機体のレンタル等を進めていく予定です。

SR-02

SR-01

連結財務諸表

連結貸借対照表(要約)

(単位：百万円)

科　目	第72期 前連結会計年度 (2022年3月31日現在)	第73期 当連結会計年度 (2023年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	37,435	44,982
固定資産	27,966	28,092
有形固定資産	10,387	10,842
無形固定資産	9,717	9,377
投資その他の資産	7,861	7,872
資産合計	**65,401**	**73,074**
負債の部		
流動負債	17,366	23,380
固定負債	14,962	13,655
負債合計	**32,328**	**37,036**
純資産の部		
株主資本	30,317	31,409
資本金	3,251	3,251
資本剰余金	2,442	2,451
利益剰余金	25,039	26,095
自己株式	△416	△389
その他の包括利益累計額	2,568	4,439
その他有価証券評価差額金	1,866	1,853
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	697	2,482
退職給付に係る調整累計額	4	103
新株予約権	187	188
純資産合計	**33,073**	**36,037**
負債純資産合計	**65,401**	**73,074**

連結損益計算書(要約)

(単位：百万円)

科　目	第72期 前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	第73期 当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	34,404	40,683
売上原価	24,439	29,167
売上総利益	**9,964**	**11,515**
販売費及び一般管理費	8,924	9,508
営業利益	**1,040**	**2,007**
営業外収益	1,071	1,045
営業外費用	231	295
経常利益	**1,880**	**2,757**
特別利益	660	—
税金等調整前当期純利益	**2,541**	**2,757**
法人税、住民税及び事業税	1,119	1,099
法人税等調整額	△26	△46
当期純利益	**1,448**	**1,704**
非支配株主に帰属する当期純利益	**—**	**—**
親会社株主に帰属する当期純利益	**1,448**	**1,704**

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円)

科　目	第72期 前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	第73期 当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,323	2,544
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11	△766
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,534	△95
現金及び現金同等物に係る換算差額	299	521
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	2,077	2,204
現金及び現金同等物の期首残高	12,114	14,192
現金及び現金同等物の期末残高	14,192	16,396

株式の状況・会社概要

株式の状況

（2023年3月31日現在）

発行可能株式総数	39,000,000株
発行済株式の総数	19,332,057株
株主数	6,036名

大株主

（2023年3月31日現在）

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
丸一鋼管株式会社	1,300	7.00
京阪神ビルディング株式会社	828	4.46
株式会社三井住友銀行	805	4.34
株式会社三十三銀行	805	4.34
株式会社酉島製作所	801	4.32
三井住友ファイナンス＆リース株式会社	693	3.74
三井住友カード株式会社	692	3.73
住友不動産株式会社	584	3.15
鳥海　紳悟	552	2.98
鳥海　貴子	539	2.90

注.当社は、自己株式771,945株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
また持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株式分布状況

（2023年3月31日現在）

所有者別	株主数（名）	株式数（千株）	株式数比率（%）
個人・その他	5,817	6,947	35.94
金融機関	13	2,926	15.14
その他国内法人	83	6,735	34.84
外国人	97	1,675	8.67
証券会社	25	275	1.42
自己名義株式	1	771	3.99
所有株数別	**株主数（名）**	**株式数（千株）**	**株式数比率（%）**
1～99株	731	12	0.07
100～499株	3,274	554	2.87
500～999株	638	382	1.98
1,000～4,999株	1,113	1,972	10.20
5,000～9,999株	128	836	4.32
10,000～49,999株	108	2,052	10.62
50,000～99,999株	12	780	4.04
100,000株以上	31	11,968	61.91
自己名義株式	1	771	3.99

会社概要

（2023年3月31日現在）

商　　号：三精テクノロジーズ株式会社
(Sansei Technologies, Inc.)
設　　立：1951年2月27日
資 本 金：3,251百万円
従業員数：1,182名（連結）314名（単体）
本社所在地：〒532-0003
大阪市淀川区宮原4丁目3番29号
TEL 06-6393-5621
FAX 06-6393-5701

役員一覧

（2023年6月29日現在）

取締役会長：中川　実
代表取締役社長執行役員：良知　昇
取締役常務執行役員：宮﨑　和也
取締役常務執行役員：野口　幸男
取締役常務執行役員：西山　泰治
社外取締役：アイアトン ウィリアム
社外取締役：大野　忠士
社外取締役：安藤　よし子
社外取締役：川島　勇
常勤監査役：小林　久員
社外監査役：池口　毅
社外監査役：清水　仁
社外監査役：一ノ瀬　英次

株主メモ

事業年度：毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会：毎年6月開催
基準日：●定時株主総会　毎年3月31日
●期末配当金　毎年3月31日
●中間配当金　毎年9月30日
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主さまは、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主さまは、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関：東京都千代田区丸の内1丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所：大阪市中央区北浜4丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

（郵便物送付先）：〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
（電話照会先）：0120-782-031
受付時間 9:00～17:00（土日休日を除く）

インターネットホームページURL
https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主さまには、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設いたしております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先にお願いいたします。

公告の方法：当社のホームページに掲載する。
（https://www.sansei-technologies.com/ir/announcement/）

金融商品取引所：東京証券取引所スタンダード市場

VEGETABLE OIL INK　UD FONT